

# イベント開催報告書

## 【親子でボール・風船あそび】

日付：令和5年11月25日（土）

場所：メディカルコミュニティセンター1階 多目的ホール

主催：（一社）みやきスポーツコミッション・みやき町



# 親子でボール・風船あそび

## 概要

- 名称 親子でボール・風船あそび
- 日程 2023年11月25日（土）
- 時間 10時30分～11時30分
- 場所 市村清記念メディカルコミュニティセンター1階多目的ホール
- 参加費 無料
- 内容 親子を対象としたボールあそび
- 講師 岸田直美氏【ASハリマアルビオン代表:りんりん】
- 目的 親子一緒に楽しめる、風船ボールあそびを実施することで、親子ふれあいの場を創出する。また、集中力やバランス感覚を養う動きを取り入れた「ボールあそびトレーニング」を普及させ、子どもたちの健やかな成長を促進する。
- 企画 (一社)みやきスポーツコミッション
- 主催 (一社)みやきスポーツコミッション・みやき町女子サッカー推進室



岸田 直美

## 実施

- 指導 岸田直美氏
- 補助 みやきなでしこ選手1名（本村海里）、海堀あゆみ氏、みやき町女子サッカー推進室2名
- ゲスト 岡毅町長
- 参加者数 20名（ボール遊びグッズを渡したあと、会場外で同内容を実施した参加者も含む）

## 主催者振り返り

### ● 感想

子どもたちだけでなく、親子一緒に汗だくになるほど楽しんで参加していた。

### ● 今後の改善点と展望

今回は会場の広さを考慮し、人数を絞るためチラシ配布（学校・幼稚園など）を実施しなかったが、より多くの方に楽しんでもらうため、年に1～2回は広い場所で開催したい。

✓ 農業環境改善センター、みやき町三根体育館ほか

### ● 会場が大きくなるとできること

✓ より多くの子どもたちが参加できる。→親同士・子ども同士の交流の場ともなる

✓ 小さな会場では難しい「かけっこ」プログラムを実施できる。→内容の幅が広がる

✓ ふわふわボールでのミニサッカーゲームを実施することできる→女子サッカーの認知が高まる

## プログラム概要



### 風船&スティックバルーン 創造あそび

風船とスティックバルーンでどんなあそびができるかな？

子どもたちが想像を膨らませながら、自分たちで遊び方を考え実行し、想像力を養うプログラム。



### 子ども vs オトナ「風船競争」

スティックバルーンで風船を転がしたり、落とさないように弾ませながら行う競争。

不規則な動きをする風船のバランスをとることで、集中力が養われる。

保護者がスティックバルーンで風船をつついて軌道を変える「鬼役」を担うことで、子どもと一緒に遊ぶことができ、親子ふれあいの機会にもなる。



### 風船ヘディング・リフティング・ドリブル

硬いボールではケガの危険があるヘディングも、風船であれば小さい子どもでも楽しんで実施できる。

また、風船さえあれば家でも同様に遊ぶことができ、「おうちあそびトレーニング」へもつながる。

## 親子で みんな!あつまれ〜 ボール・風船あそび



身の回りある風船や、うちわなどを使って『風船あそび』  
お父さんもお母さんも子どもたちも集中して遊びます

その他、サッカーボールを使ってボールフィーリングや  
サッカーランニング、PK対決やミニゲーム などなど

あっといふ間の60分イベントです!!



《指導者》  
岸田 直美  
(JFA公認キッズリーダー1級)  
(バルシューレC級指導者)

《場所》市村清記念  
メディカルコミュニティセンター

1階 多目的ホール

《日時》11月25日(土)

10時半～11時半まで  
(10時から受付)

《定員》親子10組  
(最大14組まで)

参加料  
無料!

主催：みやきスポーツコミッション・みやき町  
連絡先：女子サッカー推進室 TEL 0942-89-1655

なぜ、「ボール」ではなく風船を使うのか？

- 柔らかく軽いため、小さな子どもでも恐怖感なく遊べる。
- 不規則な動きを目で追うことが必要になり、集中力やバランス感覚が養われる。
- すぐ用意できるものであれば、家に帰っても遊ぶことができ、家族やお友達に教えることでコミュニケーションが生まれる。
- 窓や家具に当たっても破損の心配がなく、保護者も安心して遊ばせることができる。